

全民医発（４１）第ア－１０７号

２０１４年６月２日

各県連会長 殿

各歯科事業所所長 殿

全日本民主医療機関連合会

会 長 藤末 衛

歯科部部長 江原 雅博

（公印省略）

「第２１回歯科学術・運動交流集会」開催案内・演題募集について

貴県連・歯科事業所の日頃のご奮闘に心より敬意を表します。

２０１５年１月３１日（土）～２月１日（日）に福岡県で「第２１回歯科学術・運動交流集会」を開催致します。今回は九州・沖縄地協で実行委員会を組織し、開催に向けた準備を進めています。各事業所から多くの演題を寄せて頂くため、地協・県連などを中心とした積極的な取り組みをお願い致します。

演題についてはまず発表希望者に「演題登録申込票」で演題登録をして頂き、実行委員会で採否を検討します。その後、採用演題をお知らせいたします。併せて、演題採用者には「抄録原稿の作成について」、「パソコン・プロジェクターの使用要綱」などの各要綱を送付いたします。

なお、演題登録の締め切り日は２０１４年７月１８日（金）とさせていただきます。「演題登録用紙」を期日までに E-mail にてご提出下さい。

本通達は歯科事業所へ直送いたしますので、県連担当者の方はご承知おき下さい。

以上

－問い合わせ－

〒113-8465 東京都文京区湯島２－４－４ 平和と労働センター７階

全日本民医連歯科部：松橋有沙

TEL：03-5842-6451／FAX：03-5842-6460／E-mail：min-shika@min-iren.gr.jp

変革と創造～口から守るいのち～

実行委員長挨拶

昨今、みなさんは超高齢、少子化社会という言葉をよく耳にしませんか？団塊世代の高齢化、子供や若年層の貧困が医療に顕著に反映されつつある現代、私たち歯科医療に携わる者にとっても、高齢者や貧困層に対応した医療の水準・質の確保は急務であると考えます。

現状を見ると、これまでの「病院完結型」の医療システムに、歯科は十分に参画できていないとしばしば耳にします。同様に実感している方も多いのではないのでしょうか。このままだと「地域包括ケアシステム」の推進に伴ってこれから移り変わっていく「地域完結型」の医療には歯科が取り残され、医療現場から口腔の問題が置き去りにされたままになるのではないかと危惧します。

しかしご存じのように、2012年の診療報酬改定に伴い周術期口腔機能管理料が新設されました。そして昨年には、医科側にも受け入れられ易くなる目的でその一部が改定されています。さらに、病院や介護施設においては、口腔ケアや摂食嚥下療法の充実が、生活といのちを守ることに大きな成果がある事への理解が広がっています。この変革は歯科医療従事者へのメッセージであると思います。

今、私たちには歯科単独の医療行為に終始するのではなく、医科、介護分野との連携、ひいては地域との連携に積極的に参加し、口腔の問題に対するプロフェッショナルとして地域医療を牽引していくことが期待されているのではないのでしょうか。

「変革と創造～口から守るいのち～」このメインテーマはこれまでの歯科医療の上に新しい姿勢、新鮮な知識をプラスして、かつ民医連歯科らしいこれからの歯科医療をここから創造していこうという思いで決めました。

今回の歯科学術・運動交流集会を、「いのちを守るために、どのように連携を進めるか」を考えるきっかけとする場と位置付け、皆様の知識・技術・運動・実績そして有益な取り組みを持ち寄り、交流を深める場としたいと考えています。そして、全国の事業所の取り組みを参考に、各自の取り組みを振り返るよい機会とし、さらに、参加された皆様が少しでも多くの収穫を持ち帰って頂けるような実りあるものにしたいと考えています。

皆様の多数の参加とご発表を心よりお待ちしております。

2014年6月

第21回歯科学術・運動交流集会実行委員会
実行委員長（大手町病院附属歯科診療所所長）園田 聡

演題募集要項

1. 日程・会場

日 時：2015年1月31日（土）～2月1日（日）

会 場：アクロス福岡

主 催：第21回歯科学術運動交流集会実行委員会

規 模：250人（地協毎の期待参加数の目安は改めて提案させていただきます）

対 象：民医連職員、共同組織、歯科系学生の方々など

2. 開催にあたっての基本的な考え方

民医連歯科の歴史を振り返るとともに、すべての民医連歯科の活動を結集させ、交流・論議をおこない、到達点を確認し今後の民医連歯科の転換の課題などを明らかにします。そのために、全ての民医連歯科事業所に演題発表と参加を呼びかけます。併せて病院・診療所で口腔ケアに携わる職員の皆さんにも積極的な応募を期待します。

3. 企 画

(1) 分科会、ポスターセッション（演題募集テーマ別紙参照）

別紙の「演題募集テーマ」に基づき、幅広く演題を募集し、分科会を構成します。便宜上5つのテーマを設定しましたが、幅広い分野での演題をぜひ多く寄せて頂きたいと思います。

応募者の形態としては①口演と②ポスターセッションの2種類があります。応募の際に発表形態の希望をとりますが、内容によっては変更をお願いすることがありますので、ご了承下さい。

なお、歯科事業所は各事業所から1演題以上の登録を目標として取り組んで頂きますよう、お願い致します。

① 口演について

発表時間7分、討論時間3分の予定です。発表に際しては、抄録以外にパワーポイントの使用を原則とします。パワーポイント以外のソフトや動画、スライドや OHP は 使用出来ませんのでご注意ください。また、当日の資料配付も出来ませんのでご了承下さい。

② ポスターセッションについて

ポスターセッションは、展示期間中参加者が自由に見ることができ、そのためあらかじめ質問を準備することが出来ます。また、発表者と参加者で直接質疑応答ができ、ポスターの写真撮影も可能なため大変好評です。

発表時間5分、討論時間4分の予定です。抄録以外に模造紙（788mm×1091mm）縦方1枚以内にポスターを作成して下さい。当日の資料配付は発表者が発表場所での配布のみ認めます（資料を置く場所はありません）。

※ポスターセッションに限り、タブレット端末等での動画の使用を認めます。ただし、**発表時間厳守とし、機材の準備は発表者自身でお願いします。**電源を含め、主催者側は機材の準備はいたしません。

(2) 記念講演・全体企画

現在検討中です。決まり次第お知らせいたします。

応募要項


1. 演題登録

別紙「**演題登録用紙**」に必要事項を入力の上、以下の要項に従ってお申し込み下さい。

＊別紙演題 “演題募集テーマ” に記した I～V のテーマから、必ず一つ指定して下さい。内容がいくつかにわたる場合は、主たるテーマをひとつ選択して下さい。

＊E メール送受信の際は、ファイルの破損や迷惑メールへ仕分けられることなど、担当者が申込みをうけるまでにいくつかのリスクが考えられます。必ず下記の手順に従ってお申し込み下さい。

<演題登録申込み手順>

- ① 必要事項を入力する
- ② “ファイル名”は県連・事業所・氏名にする。・・・例)  東京・全日本・民医連太郎.xls
- ③ ファイルを E メールで送付する
 - a. 件名 (メールの題)に「歯科学運交演題登録」と入力する (「」は不要)
※全日本で受信する際、迷惑メールへはじかれる場合がありますので、必ず件名を入力して下さい
 - b. 本文中に申込者名、所属県連・事業所名、演題登録申込みの旨を入力する。
 - c. 入力済みの「演題登録申込票」を添付する
 - d. メールを送信する (min-shika@min-iren.gr.jp へお送り下さい。宛先はお間違えのないようご注意ください)
 - e. 送信メールは演題採否決定まで保存しておく。

※登録締切：7月18日（金）

2. 締め切り後、実行委員会で演題の採否を決定させていただきます。

3. 採否の結果は、8月中旬～下旬に採用演題一覧表と各要項①「抄録原稿作成について」、②「パソコン・プロジェクターの使用要項」、③ポスター作成要項を県連、歯科事業所へメールにてお送りします。個々の応募者には通知しませんので、ご承知下さい。

パワーポイント作成時の留意点

＊ スライドの縦横比は、4：3で作成してください。→スクリーンからはみ出す恐れがあるため
PPT > デザイン > ページ設定 > スライドのサイズ指定 で「画面に合わせる(4:3)」になっていることを確認してください。

＊その他の詳細については発表データ提出の案内通達にてお伝え致します。

演題募集テーマ

〔Ⅰ〕 歯科医療①：（医科・歯科・介護連携の取り組み）

超高齢化を迎える日本。今まで以上に高齢者歯科医療が重要になってきます。特に在宅・介護分野へ歯科がどの様に係わっていくのかは、歯科が存在意義を示す重要な取り組みであると共に、民医連の歯科医療の力を大いに発揮できる場所です。NST の取り組みや多職種で口腔機能の改善に関わった事例など、是非ご応募ください。

- *在宅・介護分野での取り組み
- *高齢者・障害者に関する日常診療の取り組み
- *医科、介護部門との連携
- *チーム医療（医科事業所・介護事業所との連携） など

〔Ⅱ〕 歯科医療②：（さらなる技術向上をめざして）

各職種の技術向上・チームワークのレベルアップが医療の安全性に繋がり、患者サービス向上にもなっています。治療計画の共有や合意、納得の医療、かかりやすさの追求が重要になっています。民医連歯科医療として患者・利用者の立場に立った安心・安全・信頼の医療の実践を持ち寄り学び合いましょう

- *安全・安心の取り組み（院内感染・医療事故防止）
- *医療事故への対応・リスクマネジメント
- *患者対応・アポイント管理の取り組み
- *院内 IT 化の取り組み
- *満足度向上にむけての取り組み
- *カルテ開示・治療計画の共有化 など

〔Ⅲ〕 医療の安全性の追求・患者サービスの向上

歯科医療の技術は日々進歩・発展しています。各事業所での技術向上に向けた取り組みと、その実践症例報告をお待ちしています。

- *ペリオの予防・管理の取り組み
- *欠損補綴、インプラントなどでの医療技術の向上
- *矯正・小児治療の取り組み
- *チーム医療（各職種との技術連携） など

〔Ⅳ〕 全職員で取り組む経営・事業展開への挑戦

医療を提供し続けるためには黒字経営を追求することが大切です。また、地域と共に歩むゆたかな人間性を持つ職員育成や職場づくり、民医連歯科医療の後継者対策も重要課題です。そうした実践を持ち寄り学びましょう。

- *医療経営構造転換・経営改善の取り組み
- *管理運営上の取り組み
- *技工士の現状とこれからの取り組み

＊人づくり・後継者対策・臨床研修施設取得への対応

＊職員のメンタルヘルス

＊リニューアル・事業拡大の取り組み

＊地協・県連の取り組み、新歯科建設 など

〔V〕 社保活動・地域、共同の取り組み

2012年6月に歯科酷書―第2弾―が発行され、第1弾に続き、大きな反響を呼んでいます。受療権侵害の事例・症例など多数の申し込みをお待ちしています。このテーマは特に民医連ならではの医療活動が展開されていると思います。平和を守り、命と生活を守る活動やたたかいの実践を持ち寄りましょう。

＊憲法を守る取り組み

＊反核平和活動・政治革新の取り組み

＊患者の権利・受療権を守る取り組み

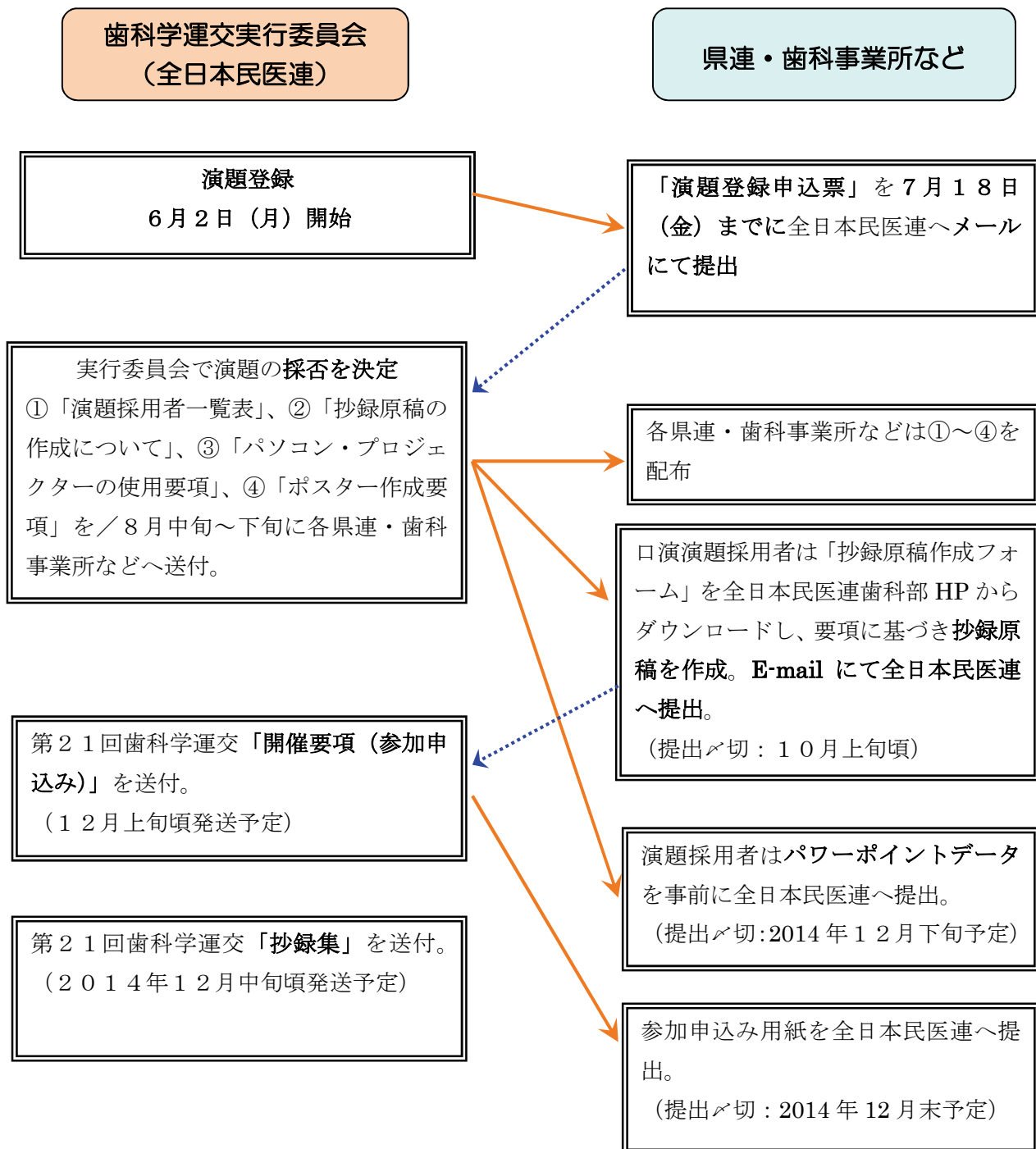
＊無料低額診療事業の取り組み

＊共同組織拡大や地域との協力共同

＊ヘルスプロモーションの取り組み（地域や職域における歯科予防活動 例：歯みがきセミプロ養成講座・口腔ケア教室・青空歯科検診・産業医と連携した事業所健診など） など

その他、上記に関わらず応募下さい。

* 演題登録申込みから当日の流れ *



* 抄録原稿作成・提出、発表用パワーポイントデータ提出、参加申し込みに関する要項は、上記の流れの通り後日お送りします。

* ポスターセッション用のポスターは発表者が現地持ち込みになっております。

演題登録〆切日は2014年7月18日(金)必着です。